

# 慶祝

おめでとうございます  
心より祝福いたします

(30年後期・敬称略)

◎全国民生委員児童委員連合会

会長表彰(永年勤続)

佐藤美智子(南通宮田)

佐藤 祐子(榎山金照町)

佐藤 義孝(榎山愛右下)

岡田 弘子(南通みその町)

◎秋田市緑化功労者表彰

佐藤美智子(南通宮田)

# 地区への一篤志

(平成30年8月〜平成31年2月)

○「香典返し」

5万円(亡夫 田中 恒次様)

榎山登町 田中小夜子様

○「芳志」

5千円 南通みその町 高桑 博様

1万円 榎山南中町 神田 武様

1万円 榎山南中町 加藤 俊悦様

## 当社協定期総会の開催予告

平成31年度の築山地区社協定期総会を左記のとおり開催します

日時 4月27日(土)午後2時  
場所 榎山コミュニティセンター

# 会務報告

平成30年9月〜平成31年2月

9月1日 「築山社協だより第54号」を発行し、民生委員、町内会長を介して全世帯に配布

9月1日 敬老会該当者全員に町内会長の協力を得て、お祝いの商品券の配布を開始

9月14日 秋田市共同募金委員会主催の「研修会及び地区会長・事務担当者会議」に会長と鈴木副会長が出席

9月17日 社協役員、民生委員の協力のもとに地区敬老会の準備

9月18日 恒例の地区敬老会式典及び祝賀会を榎山コミセンで開催

10月1日 赤い羽根共同募金運動を推進

10月11日 グラウンドゴルフ大会を榎山緑地公園で開催

10月24日 文化会館で開催された市社会福祉大会に役員が多数参加

11月5日 「築山社協だより編集委員会」を榎山コミセンで開催

11月11日 軽スポーツ大会を榎山コミセンで開催

11月11日 地区内の老人クラブ、福祉関係諸団体、子育て支援施設等に助成金を贈呈

11月15日 「市社会福祉協議会Bブロック地域交流研修会」の打合せに会長・京屋副会長が出席

11月19日 カラオケ大会を開催

11月27日 地域歳末助け合い運動の事前打合せ(会長・副会長)

12月1日 地域歳末たすけあい運動の推進

12月23日 「秋田市社協だより」の配布準備作業を実施

12月26日 地域歳末たすけあい配分会を開催。歳末たすけあい運動の善意を地区内の要援護世帯等に一律5千円を民生委員を介して配布。地区の福祉施設に果物を贈呈

1月上旬から 75歳以上の一人暮らしの高齢者・80歳以上の高齢夫婦のみの世帯にお茶を持参し激励訪問を開始

1月6日 「築山地区民児協新年会」に会長が出席

1月15日 かわぐち保育園児を招き「幼児と高齢者の集い」を榎山コミセンで開催

1月18日 「市社協連絡会研修会」に会長・京屋・鈴木両副会長が出席

1月27日 「築山学区町内会長連絡協議会新年会」に会長が出席

1月28日 Bブロック地域交流研修会の開催会場に向き、担当者と事前打ち合わせ(会長・京屋副会長)

2月6日 「Bブロック地域交流研修会」を当地区社協担当で第一会館本館を会場に開催。会長・副会長・監事等役員が出席

2月11日 「榎山かまくらまつり」に役員が多数参加

2月27日 「市社協事務担当者研修会」に会長・京屋副会長が出席

# ◆編集後記◆

このたびの当社協だより第55号は、平成年間における最後の刊行となる。諸兄弟、既にご承知の事であろうが、現天皇陛下が4月30日にご退位され、5月1日、皇太子さまの新天皇ご即位に伴って改める新元号は、1カ月前の4月1日に政府発表される段取り。次の社協だより第56号が新元号、最初の発行(9月1日)となる▼2月6日秋田市社会福祉協議会Bブロックの地域交流研修会(2面参照)が開催され、情報交換。各地区の代表から自然災害に対する防災・減災について、さまざまな取り組み方を承った。ところで、太平川の堤防から編集子のマイホームは庭先へ直線約30m、豪雨が延々と続く度に、川の増水状況が気掛かりだった。最近秋田県の秋田地域振興局から太平川河川改修の事業を着手する旨の朗報が入った。随分長期間に渡る工事となるが、前段として近くの才八橋の撤去、架け替え(仮設)が既になされている。「平成」は間もなく改元されるが、築山地区は行く末々々、天災地変などに見舞われることなく、一事が万事、平穏・平静な地域でありたいと請うものである。(北條 晃)

## 編集委員

北條 晃  
加藤 俊悦  
鈴木 夏代  
京屋 均

# 秋田南中生、地域貢献熱心に



秋田南中学校では4年間、地域貢献活動を行っている。昨年10月25日には3年生が川口デイサービスセンター(左上、中)や榎山保育園(右上、左下、右下)を訪ねし窓掃除や車いすの手入れ、音楽交流などを行った。太平川清掃は7面に掲載。

# 地域の「行動人」を目指して



秋田市立秋田南中学校  
校長 茜谷 英也

昨年十月二十五日、汗ばむような秋晴れのもと地域貢献活動が行われました。この活動は、地域や地域を支える人々と積極的に関わることを、相手の立場に立つて物事を考え行動する力を身に付けること、ボランティアの意味について学ぶことをねらいとし、30年度で四年目を迎えました。

当日は、三年生の生徒が四コース5箇所で開催し、築山地区では太平川沿いのクリーンアップ、榎山保育園・川口デイサービスセンターでの奉仕活動となりました。出発式では生徒たちに「できることをやってみて、返ってくるものは何か」という問いかけをして送り出しました。生徒たちはそれぞれ現場で地域の方々のご指導のもと献身的に活動しました。

実施にあたっては、活動の意欲付けに、「ボランティアとは何か」を学ぶ講話を開催しています。30年度は「生涯学習のススメ」をテーマに「ボランティア」と題し、秋田県生涯学習センターより講師の先生をお招きし、ボランティアの意味について学習しました。講座のキーワードは「行動人(こうどうびと)」、「三方よし」の二つ。前者は、秋田県の生涯学習

が目指す人間像「学んだことを生かして行動する人」のことです。また、後者は近江商人の心得からきたもので、「地域にとって、受け入れる側にとって、皆さんにとってよし」という意味です。地域の方々は、生徒たちの安全面に配慮していただきながら、その活動ぶりに励まされたいと、学んだキーワードの意味を見事に実感する活動となりました。

# 築山社協だより

第55号

平成31年3月1日

築山地区社会福祉協議会

発行人 加藤 俊悦  
(題字：茂林 憲子)

# 見舞金、陳情：取り組み多彩

## Bブロック 防災めぐり情報交換

平成30年度の秋田市社協Bブロック地域交流研修会が2月6日、第一会館本館を会場に開かれました。メインの情報交換では、防災をめぐる様々な取り組みが紹介され、参加者には大きな刺激となりました。

参加したのは、旭北、牛島、大住、仁井田、上北手、四ツ小屋、御野場、雄和、御所野、築山等、9地区社会福祉協議会の会長、副会長ら40人。本年度の開催当番社協である築山地区社会福祉協議会の加藤俊悦会長があいさつし、「自然災害が多発する中で、想定外のことがないように何ができるか考えてなければならぬ。各地区とも河川が流れており増水などの危険と向き合っている。お互いの防災意識を高



防災・減災めぐり情報交換した社協Bブロック地域交流研修会

めたい」と述べました。この後、情報交換が行われ、「自然災害に対する地区社協としての防災・減災の取り組みについて」を主題に事

前アンケートを基にして各社協からさまざまな対応が紹介されました。(アンケートの結果は、別項の「地域の取り組み状況」をご覧ください)

### 地域特性や被害踏まえ活動

その中で、旭北地区社協は「防災訓練を行ったが、元氣な住民の参加であった。今後は要支援者に災害時どう対応するかを考えた」と課題を述べました。牛島地区社協からは、独自の見舞金支給について報告がありました。詳細は別項に掲載しましたが、災害が年々増えていることから、見舞金の最高額を10万円から5万円に引き下げたことが語られました。また一人暮らし高齢者を対象にした消防関係者の講話で、参加者から「猿田川の増水時に屋外に出ないで位牌を持って2階に避難して救援を待った」、「ストープの上に洗濯物を置かないでよかった」などの体験談が披露され、ためになったとい

う話もありました。大住地区社協は、防災訓練の実施状況に加え、昨年の豪雨時に市職員と各家庭を回り困ったことないか聞き取りを行い感謝されたことを述べました。仁井田社協は、排水ポンプの設置を求める署名約7千人分を集め、国に陳情したことを報告しました。その行動力に、出席者は目を見張られる思いがしました。

### 高齢者へ迅速な避難情報を

築山地区社協は、過去2年間の防災研修を報告。加藤会長は「テレビのデッド放送やスマホが最新の災害時避難情報を流しても、操作に不慣れな高齢者が多く届かない。迅速に伝わる仕組みが急がれる」と、課題を指摘し情報交換を終えました。

このほか、秋田市功労者の一ノ関勝義様が「波乱万丈、泣き笑い人生」と題して講演されました。

## 地域の取り組み状況

### —アンケートまとめ

◎炊き出し、けが人搬送など訓練  
住民65人が参加し昨年10月、地区コミセンで日赤県支部指導員のもと、災害時の豆知識や炊き出し訓練、けが人の搬送、三角巾の使用法について講習会を実施。初めての訓練だったが、参加者は災害への心構えの大切さを学んだ。(旭北地区社協)

◎被災世帯に災害見舞金を支給  
災害見舞金要綱を平成25年に策定。火災・台風・洪水・地震・津波・雪害、その他の自然災害に対し被害の状況に応じて、5万円～1万円の見舞金を被災世帯に支給する内容。同29年7月、30年5月の大雨による床上浸水、床下浸水計22世帯に3万円～1万円を支給した。(牛島地区社協)

◎避難場所への経路や時間を確認  
自主防災や町内会長連絡協、民生児童委員協など5団体合同で、昨年6月にリヤカー避難3町内、車いす避難2町内、手を引いて徒歩避難2町内を決め、地区コミセン体育館までの避難経路と避難時間の確認を実施した。初期消火や煙中体験などの訓練、消防署員による講話も行っているが、高齢者だけでなく小中学生の参加も呼びかけていきたい。

(大住地区社協)  
◎河川氾濫を教訓に排水ポンプの設置を陳情  
平成29年7月の豪雨により、猿田川が氾濫、国道13号線も秋田南消防署付近が通行止めに。古川も雄物川の水位が上がると、雄物川への排水門が閉じられたため水位が上がり、浸水被害が出た。古川は秋田市、猿田川は県、国道と雄物川は国が管理という状況。緊急の排水ポンプ設置を求める運動を地域で展開。住民約7000人の署名を集め、地域代表や穂積志秋田市長らが国会に出向き、石井啓一国土交通大臣に陳情し署名を直接手渡した。

(仁井田地区社協)  
◎地域活動座談会を通じ災害対応情報を共有  
市民サービスセンターの主催で昨年、一昨年と計4回にわたり災害対応の座談会を実施。豪雨による雄物川の浸水状況、地域づくり交付金を活用した防災訓練などへの理解を深めた。(雄和地区社協)

◎太平洋川の浸水危険力所など学ぶ  
大仙市への視察、松富英夫秋大教授の講演会を行い築山地区の実情把握に努めた。\*詳細は地区社協だより53、54号で紹介。(築山地区社協)



秋田市緑化コンクールで愛宕下西丁親交会の花壇が、奨励賞を受賞しました。(昨年9月4日の審査風景)



軽スポーツ大会が楢山コミセンで開かれました。運動不足解消を狙いに35人が参加し、心地よい汗をかきました。(昨年11月11日)

好評だったカラオケ大会が有楽町のスナックで再び開催。今回は時間を延長し気持ちよく歌い込み楽しみました。(昨年11月19日)



秋田南中学校の3年生30人が地区民生委員とともに、太平洋堤防の百石橋～牛島橋をクリーンアップ。環境浄化への思いを強めました。(昨年10月25日)



築山小学校の正門近くの道路角に、真新しい校名看板が設置されました。当社協の寄贈。(昨年10月設置)

## 地域活動

## 町内へ戻るまちの動き



かわぐち保育園を招き「幼児と高齢者の集い」を楢山コミセンで開きました。けん玉、おはじきなど昔の遊びを通じてお互いの交流が深まりました。(1月15日)



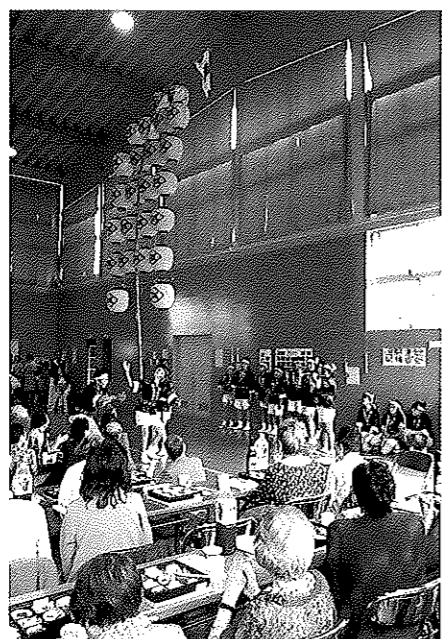
会では、地区内の物故者への黙とうを捧げた後、加藤俊悦会長があいさつし「今年も全国で豪雨による被害が発生し災害への備えを痛感させられました。知恵を出し合い、いざという場合

### 平成最後の敬老会

30年度の築山地区敬老会は、昨年9月18日、午前11時から榎山コミュニティセンターで開催しました。地区の75歳以上の男性65名、女性65名の合わせて130名の高齢者が参加し、楽しいひと時を過ごしました。

## 再会を喜び、話が弾む

の対応を話し合っってほしい」と語り、防災への意識向上を呼びかけるとともに、「ご長寿をお祝いしました。引き続き、来賓の築山小学校・鈴木了校長、秋田南中学校・茜谷英也校長から祝辞をいただき、祝電も披露されました。次いで敬老者を代表して榎山下浜町内会の藤原賢一さん(76)が「体も心



会場の掛け声に合わせ、竿燈の技を次々と披露する築山小学校竿燈まつり部

元気あふれる「みどり保育園」園児たちの歌声。参加者の顔がほころぶ

### 平成30年度 築山地区高齢者数

(平成30年9月1日現在)

年齢	男	女	計
104歳	0	1	1
103歳	0	1	1
102歳	0	1	1
101歳	0	2	2
100歳	1	3	4
95歳～99歳	13	24	37
90歳～94歳	55	105	160
85歳～89歳	98	226	324
80歳～84歳	156	269	425
75歳～79歳	200	258	458
合計	523	890	1413

(注)施設入居、長期入院、転出などの不在者は除く

ステージや館内ではみどり保育園児の歌やお遊戯、築山小学校1年生の歌とご挨拶、築山竿燈まつり部の竿燈演技が披露されました。さらにゲスト出演として、全国大会で数々の賞に輝いている「タースコちんどん隊」が登場して会場を練り歩き、参加者と一種になってナツメ口を合唱。大いに盛



お年寄りの間を練り歩くちんどん隊。ナツメ口合唱で盛り上がる

り上がりました。お年寄りの中には、この敬老会で顔を合わせてお互いの近況を知らせあうことを楽しみにしている方も多く、席を立って再会を喜びながら話が弾んでいました。

### 75歳以上は1413名

築山地区に住んでいる本年度75歳以上の敬老会該当者は、男性523名、女性890名、合計1413名を数えました。百歳以上9名、98歳8名、97歳7名、96歳14名と続きます。別表の一覧表にまとめましたのでご覧ください。ご長寿を心からお祝い申し上げます。

当社協では該当者の方々に対し、記念の品として「商品券」を贈らせていただきました。

## 地域の善意を届ける 30年度歳末たすけあい募金

共同募金が行う募金活動の一つ、歳末たすけあい募金は、平成30年度、総額42万2270円が寄せられました。地域の皆様の善意に深く御礼申し上げます。築山地区共同募金委員会では、社会福祉協議会の定める配分計画に基づいて、支出させていただき



りんごやミカンを受け取る秋田婦人ホームの柴田理施設長(右)

一つは生活困窮世帯、母子家庭(いずれも生活保護受給者を除く)、65歳以上の寝たきり高齢者等が対象で、地域内の13世帯へ一律5千円をお届けしました。また地域内にある秋田婦人ホーム、川口老人デイサービスセンター、グループホーム「かんとう」、居宅介護



激励訪問で町内会長から煎茶を贈られる高齢世帯のご夫婦(百石橋通り町内)

### 煎茶で高齢者を激励訪問

さらにこの歳末たすけあい募金の一部を活用して、年明けから高齢者の見守り活動を実施しました。対象は75歳以上の一人暮らしの方、80歳以上の高齢者世帯です。築山地区全体で560世帯となりました。民生委員や町内会長が煎茶を持参し、「厳しい寒さ乗り切ってください」と声をかけ激励しました。残金21万8232円は、全額秋田市共同募金委員会へ送金させていただきました。

## 榎山地区コミュニティセンター

### 開館40周年を迎える

榎山地区コミュニティセンターが平成30年に開館40周年を迎えました。10月13日コミュニティ祭りの開会式で、運営に尽力し貢献してきた個人10人と1団体に感謝状を贈り、功績を讃えました。



現在のコミセンの姿となりました。この間榎山文庫もコミセン運営委員会に移行されました。同27年4月からは秋田市の指定管理者制度により、管理運営委員会を組織して運営しています。現在、定期的に集まって活動しているスポーツや文化サークルは70を数え町内会、当社協、民児協など各種団体の会合、イベントを含めた利用者は年間4万人を超えます。地域活動を支える拠点の場として重要な役割を担っています。コミセン祭りで功労者に感謝状を贈呈

### 個人10人と1団体に感謝状

開館40周年を記念し、永年にわたり榎山コミセンの管理運営に貢献してきた故人2人、管理運営委員会役員7人、サークル協議会役員1人、老人クラブ1団体に、感謝状が贈られました。氏名と功績は次の通りです。▽故人 菊地達雄、富川有策▽管理

運営委員会の会長として、充実・発展に寄与。▽役員 樋渡久孝、佐々木洋吉、小野地英紀、大嶋洋三、嵯峨齊、佐藤哲郎、相澤裕子▽円滑な運営に貢献。▽サークル 今久勝II活動する各サークルのまとめ役として尽力。▽老人クラブ 築山寿会II花壇に季節の花を植栽し環境美化に努める。

# 平成30年度各種募金運動実績及び社協会費納入報告書

町内会・各学園等、皆様のご協力に厚くお礼を申し上げます。

単位：円

No	町内会名	日赤会費	赤い羽根	歳末募金	社協会費	No	町内会名	日赤会費	赤い羽根	歳末募金	社協会費
1	宮田	48,000	40,000	18,200	50,400	39	登町東部	17,500	44,200	6,760	18,720
2	JR宮田自治会北	10,000	24,000	10,000	25,920	40	登町中央部平和会	10,000	12,000	4,290	12,240
3	イーストハイム宮田	10,000	24,600	4,940	15,120	41	登町西部	25,000	30,000	6,500	18,000
4	築地北町	17,200	16,600	2,860	7,560	42	亀ノ丁栄町	6,500	12,000	2,500	5,760
5	築地東上町	16,500	19,400	3,770	10,440	43	餅刺町	50,000	34,000	10,000	29,500
6	築地窪町	12,000	13,600	2,080	5,760	44	九郎兵衛殿町	25,400	24,000	6,370	17,280
7	築地上本町	24,000	26,400	5,720	15,840	45	笹町	23,000	21,600	7,800	22,320
8	築地下本町	20,000	23,000	4,940	12,960	46	三枚橋町	39,600	49,800	8,580	23,760
9	築地中町	11,500	13,000	5,000	18,000	47	愛宕下東丁	7,500	12,000	1,950	5,400
10	築地西町	9,000	10,800	2,340	6,480	48	愛宕下西丁親交会	25,000	30,800	5,590	14,760
11	築地睦会	0	3,000	0	1,500	49	愛宕下南丁	10,000	12,000	2,600	7,200
12	榎山本新町上丁	13,500	24,000	5,200	14,400	50	愛宕下北丁	17,000	22,400	4,420	12,240
13	榎山本新町下丁	28,000	35,000	6,240	18,000	51	愛宕下中丁	15,000	16,800	3,640	10,080
14	榎山上本町	10,000	18,000	5,200	10,800	52	城南町	27,450	28,000	8,450	23,760
15	榎山本横町	6,500	15,000	3,000	8,280	53	金照寺山	11,500	10,000	10,000	12,600
16	内木町	18,000	17,500	4,550	12,960	54	榎山寺小路北部	8,700	5,700	1,800	13,320
17	榎山本町下丁	9,500	11,400	2,740	6,840	55	榎山寺小路南部	10,000	11,000	5,000	14,040
18	榎山古川新町	12,000	77,000	20,000	45,000	56	城南みなみ	9,000	15,000	5,000	10,400
19	百石橋通り	13,500	14,000	2,600	6,840	57	榎山石塚谷地	6,000	26,000	5,000	14,400
20	栴取町親睦会	11,000	21,200	3,510	10,080	58	榎山(大元町)	69,000	89,000	25,000	36,000
21	末無町	27,000	31,200	8,840	25,560	59	榎山石塚町	30,500	31,000	11,700	32,400
22	医王院前町	19,800	19,800	5,720	15,840	60	榎山石塚新町	51,000	48,000	20,000	57,600
23	榎山広小路	5,500	7,500	2,990	9,360	61	太田町本町	8,500	14,800	1,430	3,960
24	榎山虎ノ口新町	21,000	27,000	9,100	25,200	62	太田町山水会	8,700	17,400	3,770	10,080
25	南新町	100,000	100,000	26,000	72,000	63	太田町東部	6,600	14,000	4,290	11,880
26	森林管理局第一	12,000	12,600	2,600	7,560	64	太田町睦会	4,000	7,200	1,560	4,680
27	太平	8,500	10,200	2,210	6,120	65	太田町栄町	9,500	11,400	2,470	6,840
28	牛島橋通町	6,720	37,400	7,020	19,440	66	太田町南町	12,000	14,400	3,000	8,640
29	牛島橋通り南部	13,000	15,600	3,380	9,360	67	太田町新町	14,000	24,000	3,900	10,800
30	榎山共和町	6,500	7,800	1,820	4,680	68	太田町旭町	11,500	12,000	2,340	6,480
31	榎山下浜町	17,000	25,000	7,930	20,880		町内会合計	1,247,670	1,633,700	420,270	1,118,160
32	川口境西部	14,500	19,500	3,770	10,440		秋田南中学校生徒会		23,610		
33	登町南部	42,000	51,400	10,920	30,240		築山小学校児童会		9,268		
34	川口境東部	43,500	50,000	8,580	24,840		城南園		2,784		
35	若草団地	10,000	30,000	13,000	36,000		グラウンドゴルフ友の会		62,000		
36	入川橋	13,500	17,700	3,510	9,720		その他	10,000	3,000	2,000	
37	十軒町	9,000	11,800	2,340	6,480					3,317世帯	3,106世帯
38	米沢町	8,500	11,200	2,210	6,120		総計	1,257,670	1,734,362	422,270	1,118,160

築山学区町内会長連絡協議会は、築山学区内における町内会長をもって組織されており、築山学区は築山小学校の学区になります。築山小学校は明治16年11月1日に、築地学校と榎山学校が合併して創立されました。

町内の数は68町あり、1町内の世帯数は11世帯から272世帯とかなり差があります。町名は寛永6年に町割された名残があるとされているようです。この地域は雄物川流域の沖積平野とされ、低湿地、潟地があったようです。

協議会の目的には、「この会は築山学区の地域発展振興のため町内会長及び各種団体間の連絡協議を図るとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とする」と記

されています。築山学区における他の団体では、特に社会福祉協議会、民生児童委員協議会との繋がりが強く、常に連携を密にして活動しています。

社会福祉協議会との関係については、「築山社協だより第54号」で加藤社協会長が具体的に説明されており、この中でも皆様に特に難儀をかけたおのが、敬老会該当者確認と各団体の会費の納金、日赤会費や共同募金等の集金、取りまとめでの納金があります。

民児協では町内会長との連携が大事であり、すべての人々が明朗で健全な生活を営むための情報交換をお願いします。

## 地域の絆は「近助」の気持ちから

築山学区町内会長連絡協議会 会長 佐藤 秀一

今年、小学校・中学校適正

した。災害においては、自らの身の安全は自らが守る、自らの地域は自分たちで守る。が基本です。一人一人が自分や家族の身を守る「自助」、その上で隣近所に声掛けをし安否確認を行い、避難支援を行う「共助」、共助の中で大事なのは自力避難が困難な人に対する支援です。それをスムーズに行うために、避難支援プランを作成し、要支援者名簿に登録・支援しようとするものであり、要支援者の地域等への情報提供に関する同意確認を行う必要があります。その手続きを町内会長にお願いいたします。

各町内会長には、毎年、秋田市災害

ており、町内会長と協力して地域社会づくりをしているものです。会員相互の親睦では、毎年1月に連絡協議会の新年会を開催して情報交換を行っています。会の運営については、各町内会より年間千円の会費をいただき、また、社会福祉協議会と日本赤十字築山分会より助成金をいただき賄われています。平成29年に、秋田市より災害時要援護者の避難支援プラン作成についての要請があり、7月28日に「災害に備えた支えあいの地域づくり研修会」を開催しました。各町内会長、民生委員等多数の参加があり市より説明がありました。

時要援護者名簿が届きます。各年、市役所へ行って名簿を受け取るのですが、昨年はコミセンでも受け取ることができました。一日だけではあります。多くの町内会長がコミセンで受け取りました。この名簿は個人情報であることから、取扱注意とされています。築山学区での町内会長の変更が毎年3割以上あります。新しい会長は特に気苦労が多いと思います。市に対する「まちあかりふれあい事業資金」助成の申請、春の一斉大掃除の準備、子供会との関係、各資料等の配布など、町内会長には沢山の仕事があります。町内会の活動が町内会を活性化し、地区の発展に繋がっています。

配置について、保護者・地域住民との協議会が開催されると聞いています。築山小学校・秋田南中学校も検討の中にあるようです。町内会の皆様にもご心配をかけると思いますが、よろしくお願いたします。最近では異常気象による災害が多く発生しています。地域の絆がますます大事であり、自助・共助のことを今以上に強く考えなければなりません。最近では、近所が助け合う「近助」という言葉も生まれてきております。各町内会長には今後ともよろしくお願いをするとともに、町内会の皆様にもご協力・ご支援をお願いします。

## 赤い羽根共同募金

各種共同募金のご協力に感謝します

平成30年度「赤い羽根共同募金」と「地域歳末たすけあい運動」に、地区の多数の皆様からご寄付をいただき、誠に有難うございました。(募金実績に関しては第5面を参照)

今年度も、各町内会を通して各世帯の皆様から、善意のお気持ちでいただき、心から感謝を申し上げます。

特に、各町内会長様及び民生委員の皆様からは納金等で多大なご尽力を賜りまして、深くお礼を申し上げます。また、「赤い羽根共同募金運動」では、本年も、グラウンドゴルフ友の会の方々や、城南園の皆さん、築山小及び秋田南中の児童生徒と教職員の皆様からも、心温まるご協力をいただきました。

毎年、地域の子どもたちによる共同募金運動への取組に関しては、教育活動の一環として児童会や生徒会が主となって意欲的に活動してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

皆様からご協力をいただいた善意は、秋田市共同募金委員会に納入された後、その一部が地区への配分金として、次年度の敬老会開催など、地域の福祉活動の貴重な財源となります。ご協力をいただきましたお一人一人の皆様にご協力に心よりお礼申し上げます。(築山地区共同募金会)